

島根原子力発電所 品質保証活動の実施状況
(平成25年度)

中国電力株式会社

はじめに

一般的に品質を保証するためには顧客の期待あるいは要求を具体化するための組織的な仕組みと運用が必要であり、この仕組みと運用のもとになるのが国際基準の ISO9001「品質マネジメントシステム」です。原子力発電所の品質保証は、この ISO9001 をもとにして制定された「原子力発電所における安全のための品質保証規程」(JEAC4111) に基づき実施しています。

これらの規格に従って品質マネジメントシステムの仕組みを構築し、管理・運用して継続的に改善することが求められています。具体的な取り組みとしては「経営者の責任」(資源の運用管理を含む) =Plan, 業務の計画および実施=Do, 評価および改善=Check,Action の PDCA のサイクルを回し継続的改善を図っています。また、この品質マネジメントシステムにより顧客 (JEAC4111 では国民, 原子力安全規制などと定義) からの要求事項のインプットから始まり、業務の実施を介して「原子力安全」を実現する仕組みとして、この品質マネジメントシステムを用いています。(参考資料「原子力発電所の安全確保のための品質マネジメントシステムのモデル」参照)

本報告は、「品質マネジメントシステム」に基づき島根原子力発電所で実施した品質保証活動について報告するものです。

なお、「島根原子力発電所における点検不備に係る再発防止対策および実施状況」については、当社ホームページ (<http://www.energia.co.jp/tenken/index.html>) を参照願います。

また、平成23年3月11日に発生した、東北地方太平洋沖地震による津波対策に起因する福島第一原子力発電所の事故を踏まえた「当社原子力発電所の対応」については当社ホームページ (<http://www.energia.co.jp/earthquake/index.html>) を参照願います。

目 次

1. 品質方針および品質目標	1
(1) 原子力品質方針および原子力品質目標	1
(2) 保守管理の実施方針および保守管理目標	1
(3) 原子力安全文化醸成に関する基本方針および原子力安全文化醸成活動目標	2
2. 品質保証活動の計画および実施	3
(1) 品質保証活動の実施状況	3
(2) 島根原子力発電所 品質保証活動に係る体制	5
3. 評価および改善	5
(1) 内部監査の実施状況	5
(2) 保安検査および定期事業者検査、定期安全管理審査の実施状況	7
(3) 不適合処置、是正処置の状況	10
(4) 予防処置の状況	11
4. マネジメントレビュー	12
(1) 平成25年6月に実施したマネジメントレビューのアウトプット	12
(2) 平成26年2月に実施したマネジメントレビューのアウトプット	13
5. 教育・訓練	13
(1) 保安規定に基づく教育訓練	13
(2) 技術教育訓練	13
6. その他	13
(1) 定期検査時の品質保証に係る意識高揚策	13
(2) 協力会社との情報共有活動	14
別紙-1：島根原子力発電所 品質保証活動に係る体制	17
別紙-2：不適合・是正処置の状況	18
別紙-3：平成25年度 島根原子力発電所の教育訓練実績（保安教育）	20
別紙-4：平成25年度 島根原子力発電所技術教育訓練実績表	22
参考資料：原子力発電所の安全確保のための品質マネジメントシステムのモデル	23

1. 品質方針および品質目標

品質方針（「原子力品質方針」、「保守管理の実施方針」および「原子力安全文化醸成に関する基本方針」の総称。）は組織としての品質（原子力安全）にかかわる全般的な方向付けとなるものであり、トップマネジメント（社長）が策定します。

また、品質目標（「原子力品質目標」、「保守管理目標」および「原子力安全文化醸成活動目標」の総称。）は社長が定めた品質方針を具体的に展開するため、毎年度初めに島根原子力発電所において発電所長が策定します。

（1）原子力品質方針および原子力品質目標

平成25年度下期において、原子力品質方針の見直しはありませんでした。

原子力品質方針
1. 必要な資源を確保し、自らの役割と責任を自覚して、原子力の安全を最優先に品質保証活動を積極的に推進する。 2. 常に問いかける姿勢を持って、品質マネジメントシステムを継続的に改善する。 3. 教育・訓練を確実に実施して、技術継承を図るとともに、個人および組織全体の建設、運転・保守、緊急時の対応能力の向上を目指す。

島根原子力発電所の品質マネジメントシステム対象業務に島根原子力建設所の業務を取り込んだことに伴い、原子力品質目標の見直しを行いました(H25.9.30)。

原子力品質目標	
年度当初の原子力品質目標	見直し後の原子力品質目標(下線部が変更箇所)
1. 保全内容の適正化 2. 業務改善活動の着実な実施 3. 点検計画表に基づく保全活動の確実な実施 4. 統合型保全システム（EAM）機能の充実 5. 島根1・2号機の運転開始に向けた確実な保安業務の実施 6. 島根1号機の定期安全レビュー（PSR）と高経年化対策（PLM）の実施 7. 確実な不適合管理（情報公開含む）・是正処置、予防処置の実施 8. 新たな安全基準への対応 9. 原子力安全維持・向上施策の検討・実施 10. 人・組織の成長を促すPDCAサイクルの強化 11. 技術・技能継承への取組み強化	1. 保全内容の適正化 2. 業務改善活動の着実な実施 3. 点検計画表（1・2号機）・保安規程（3号機）に基づく保全活動の確実な実施 4. 統合型保全システム（EAM）機能の充実 5. 島根1・2号機の運転開始および3号機の燃料装荷に向けた確実な保安業務の実施 6. 島根1号機の定期安全レビュー（PSR）と高経年化対策（PLM）の実施 7. 確実な不適合管理（情報公開含む）・是正処置、予防処置の実施 8. 新たな安全基準への対応 9. 原子力安全維持・向上施策の検討・実施 10. 人・組織の成長を促すPDCAサイクルの強化 11. 技術・技能継承への取組み強化 12. 3号機工事進捗状況に応じた現場クリーン化の徹底

（2）保守管理の実施方針および保守管理目標

島根原子力発電所1号機については、運転開始から40年が経過したことから、40年高経年化技術評価に基づく長期保守管理方針を反映し、保守管理の実施方針の見直しを行いました。(H26.3.29)

保守管理の実施方針	
年度当初の保守管理の実施方針	見直し後の保守管理の実施方針 (下線部が変更箇所)
1. 常に問いかける姿勢を持ち、品質マネジメントシステムを人から押し付けられたものでなく、自分たちのルールとして改善を行う。 2. 経営層、電源事業本部と発電所および発電所各課間での意思疎通を図り、報告する文化を育て、風通しの良い職場を創る。 3. 関係会社、協力会社と協働し一体となって、より高度な保守管理を達成する。 4. 運転開始後30年を経過している島根1号機については、長期保守管理方針を反映した保全計画を確実に実施していく。	1. 常に問いかける姿勢を持ち、品質マネジメントシステムを人から押し付けられたものでなく、自分たちのルールとして改善を行う。 2. 経営層、電源事業本部と発電所および発電所各課間での意思疎通を図り、報告する文化を育て、風通しの良い職場を創る。 3. 関係会社、協力会社と協働し一体となって、より高度な保守管理を達成する。 4. 運転開始後 <u>40年</u> を経過した島根1号機については、長期保守管理方針を反映した保全計画を確実に実施していく。

保守管理の実施方針の見直しに伴う保守管理目標の変更はありませんでした。

なお、島根原子力発電所の品質マネジメントシステム対象業務に島根原子力建設所の業務を取り込んだことに伴い、保守管理目標の見直しを行いました(H25.9.30)。

保守管理目標	
年度当初の保守管理目標	見直し後の保守管理目標(下線部が変更箇所)
1. 保全内容の適正化 2. 点検計画表に基づく保全活動の確実な実施 3. 統合型保全システム(EAM)機能の充実 4. 島根1・2号機の運転開始に向けた確実な保安業務の実施 5. 島根1号機の定期安全レビュー(PSR)と高経年化対策(PLM)の実施 6. 新たな安全基準への対応	1. 保全内容の適正化 2. 点検計画表(1・2号機)・保安規程(3号機)に基づく保全活動の確実な実施 3. 統合型保全システム(EAM)機能の充実 4. 島根1・2号機の運転開始および <u>3号機の燃料装荷</u> に向けた確実な保安業務の実施 5. 島根1号機の定期安全レビュー(PSR)と高経年化対策(PLM)の実施 6. 新たな安全基準への対応

(3) 原子力安全文化醸成に関する基本方針および原子力安全文化醸成活動目標

品質マネジメントシステムに原子力安全文化醸成活動を含め、原子力安全文化醸成に関する基本方針および原子力安全文化醸成活動目標を追加しました(「保安規定(第69次改正)H26.2.7施行)。

原子力安全文化醸成に関する基本方針
【コンプライアンス経営推進宣言】 1. 法令等の遵守 すべての事業活動において、法令・ルールおよびその精神を遵守することはもとより、倫理観に裏打ちされた業務運営を強力に推進する。 2. 業務遂行上関連する法令のみならず規程、準則等の社内ルールを遵守する。
【原子力安全文化醸成方針】 1. 安全最優先の組織風土 安全最優先の価値観を共有した組織風土を創ります。 2. 継続的な改善活動 組織が一体となって、原子力安全文化醸成に係る改善活動に継続的に取り組みます。 3. コミュニケーションの充実 良好なコミュニケーションを保ち、風通しが良い職場を創ります。

原子力安全文化醸成活動目標

1. コンプライアンス意識向上のための話し合い研修の実施
2. 個人情報保護・情報セキュリティ研修会の実施
3. 安全文化講演会への参加
4. 法令・規制要求事項等のルール遵守
5. 手順書(QMS 三次文書)見直し基準に基づく文書改正
6. 業務プロセス改善活動の定着
 - ・業務改善提案事例の紹介
 - ・業務改善提案の研修会開催
7. 発電部及び保守部の意見交換会
8. リーダーシップ研修会の実施
9. 業務に関する知識・ノウハウ研修会の実施
10. 不適合処置の迅速化
 - ・発生から不適合判定検討会への付議までの期間(1ヵ月超過情報)
11. 不適合・是正処置状況の確認およびフォロー
12. 他プラント情報等の的確な水平展開(予防処置検討会検討結果の保安運営委員会での定期的な審議)
13. 予防処置状況の確認
14. ヒューマンエラーによる不適合事象の周知および改善活動
15. ヒヤリハット情報の収集・整理
16. 表彰事例の紹介

2. 品質保証活動の計画および実施

(1) 品質保証活動の実施状況

発電所で策定した原子力品質目標および保守管理目標を達成するため、それぞれの目標に対する具体的方策を発電所長が策定し、計画に基づいて業務を実施しました。

なお、原子力安全文化醸成活動については、上記1.(3)原子力安全文化醸成に関する基本方針および原子力安全文化醸成活動目標に述べる原子力安全文化醸成活動目標そのものを具体的方策として発電所長が策定し、計画に基づいて業務を実施しました。

原子力品質目標および 保守管理目標	具体的方策(主な取り組み)
1. 保全内容の適正化	(1) 保全方式(時間基準保全から状態基準/事後保全)または点検頻度の見直しの実施
2. 業務改善活動の着実な実施	(1) 手順書(QMS 三次文書)見直し基準に基づく文書改正
3. 点検計画表(1・2号機)・ 保安規程(3号機)に基づく 保全活動の着実な実施	(1) 点検計画表に基づく年度管理機器の着実な点検実施 (2) 巡視・点検による保管・据付状態の確認 (3) 調達管理による系統の健全性確認 (4) 機能確認による系統の健全性確認
4. 統合型保全システム(EAM) 機能の充実	(1) EAM機能の改良計画策定 (2) EAM機能の改良計画の実施 (3) 営業運転に必要な保全計画の準備 ・保全計画作成に必要なデータ整備
5. 島根1・2号機の運転開始 および3号機の燃料装荷に 向けた着実な保安業務の実	(1) 特別な保全計画に基づく保全活動および3号設備の維持 管理の実施 (2) 電源機能等喪失時対応資機材の点検実施

原子力品質目標および 保守管理目標	具体的方策（主な取り組み）
施	(3) 電源機能等喪失時対応訓練の実施 (4) 保安検査への的確な対応 (5) 保安検査での改善処置のフォローアップ (6) 保安調査での保安検査官気付きへの的確な対応 (7) 定期事業者検査におけるコメント事項の的確な対応 (8) 運転管理 <ul style="list-style-type: none"> ・異常徴候の早期発見 ・プラント停止中の確実な運転管理 (9) 放射性廃棄物管理 <ul style="list-style-type: none"> ・固体廃棄物貯蔵所保管裕度の確保 ・放射性物質の確実な放出管理 ・放射性廃棄物でない廃棄物（NR）運用開始に向けた準備の実施 ・クリアランス適用設備の設置 (10) 溶接事業者検査対象工事の確実な実施
6. 島根1号機の定期安全レビュー（PSR）と高経年化対策（PLM）の実施	(1) 1号機PSR実施報告書の作成 (2) PSR活動への適切な進捗状況の把握 (3) 島根1号機の高経年化対策（PLM）の実施
7. 確実な不適合管理（情報公開含む）・是正処置、予防処置の実施	(1) 不適合処置の迅速化 (2) 不適合管理情報の公開 (3) 不適合事象の分析・評価 (4) 不適合・是正処置状況の確認およびフォロー (5) 他プラント情報等の的確な水平展開 (6) 予防処置検討会（保安活動）の開催 (7) 予防処置状況の確認
8. 新たな安全基準への対応	(1) 再起動要件となる安全基準への対応実施 (2) 猶予期間のある安全基準への適切な対応 (3) 多様なハザードに対する対応手順書の整備 (4) 品質保証に係る新基準への適切な対応
9. 原子力安全維持・向上施策の検討・実施	(1) ピアレビュー改善検討項目の改善実施 (2) 原子力安全推進協会ピアレビュー改善検討項目に対する適切な対応
10. 人・組織の成長を促すPDCAサイクルの強化	(1) 基本知識・技能育成シート活用による目標設定と計画的育成 (2) 技術・技能レベルの保有実態把握方法の確認 (3) 力量認定制度の見直し
11. 技術・技能継承への取り組み強化	(1) 高度技術・技能者認定制度の導入 (2) エネルギアマスターの効果的な活用 (3) 教育スタッフ制度のフォローと技術・技能強化チーフのスキルアップ (4) 技術・技能強化チーフによる育成・指導の充実 (5) 技術・技能継承方策の策定
12. 3号機工事進捗状況に応じた現場クリーン化の徹底	(1) 3号機クリーンプラント活動の継続実施と評価

【具体的方策の実施状況の総括】

平成25年度の品質保証活動の実施結果は、策定した具体的方策に一部未達*があるものの、原子力安全への影響はなく、品質方針に沿った活動が適切に実施されていると評価しています。

※具体的方策『不適合管理情報の公開』に係る取り組みが当初計画通りに実施できませんでしたが、要因を分析し、改善を図っています。

(2) 島根原子力発電所 品質保証活動に係る体制

島根原子力発電所 品質保証活動に係る体制を別紙-1に示します。

平成26年2月7日に発電所組織の一部見直しを行いました。

3. 評価および改善

社内の内部監査や国の保安検査などにより、品質保証活動の実施状況について定期的に確認し必要により改善を図っています。

また、社内で実施する不適合管理や是正処置、予防処置を適切に行うことにより、設備の安全性向上や業務改善を図っています。

(1) 内部監査の実施状況

a. 原子力安全管理監査

原子力部門とは別組織の社内監査組織（考査部門）*¹により、品質マネジメントシステム全般の監査を行いました。（※1別紙-1参照）

【原子力安全管理監査1回目】

実施時期	平成25年8月27日～29日
監査テーマ	①品質マネジメントシステム(QMS)の運営状況 ②原子力安全規制見直しへの対応状況 ③島根原子力発電所のシビアアクシデント(SA)対策等の実施状況 ④島根原子力発電所の長期停止への対応状況
監査結果	①品質マネジメントシステム(QMS)の運営状況 QMS文書に従って業務を実施していることを確認した。 [良好事例5件] ・放射線測定機器の確実な管理 ・過去の不適合事例を追加した「定期事業者検査運用のポイント集」の活用による定期事業者検査の確実な実施 ・防波壁設置工事関連工事等の確実な進捗管理 ・委託先とのコミュニケーション手法の確立による委託業務の品質確保 ・「保安教育個人管理表」による保安教育受講の確実な管理 [不適合事項1件] ・品質記録「一時立入者承認申請書」の作成段階における修正手順の不遵守 ②原子力安全規制見直しへの対応状況 本社とのコミュニケーションを図りながら、新たな規制基準に基づきQMS文書の改正を行っていることを確認した。 ③島根原子力発電所のシビアアクシデント(SA)対策等の実施状況 新たな規制基準を踏まえたSA対策を本社からの指示に従って計画的に実施していることを確認した。また、SA対策に係る対応、設置配備した資機材の維持管理、緊急時対応訓練をQMS文書に従って適切に実施しているこ

	<p>とを確認した。</p> <p>[良好事例1件]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子力防災訓練実施・評価業務に関する手順の明確化 <p>④島根原子力発電所の長期停止への対応状況</p> <p>島根2号機の特別な保全計画に基づき策定した「2号機 保全計画（長期停止時）」に従い、機器の保管措置、健全性確認および定期事業者検査を行っていることを確認した。また、これらに係る活動をQMS文書に従って適切に実施していることを確認した。</p>
--	---

【原子力安全管理監査2回目】

実施時期	平成25年11月13日～15日
監査テーマ	<p>①品質マネジメントシステム(QMS)の運営状況</p> <p>②原子力安全規制見直しへの対応状況</p> <p>③島根原子力発電所のシビアアクシデント(SA)対策等の実施状況</p> <p>④島根原子力発電所の長期停止への対応状況</p>
監査結果	<p>①品質マネジメントシステム(QMS)の運営状況</p> <p>QMS文書に従って業務を実施していることを確認した。</p> <p>[良好事例2件]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社内電子ファイル(GF)登録のQMS文書の識別による明確化 ・EAMの様式変更(不適合処置および是正処置報告書へのEAM通知番号追加)による文書検索性の向上 <p>[改善要望事項2件]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出図書一覧表の確実な受領 ・原子力発電所土木建築関係の手順書の確実なレビュー <p>②原子力安全規制見直しへの対応状況</p> <p>本社とのコミュニケーションを図りながら、新たな規制基準に基づきQMS文書の改正を行っていることを確認した。</p> <p>③島根原子力発電所のシビアアクシデント(SA)対策等の実施状況</p> <p>新たな規制基準を踏まえたSA対策を本社からの指示に従って計画的に実施していることを確認した。また、SA対策に係る対応、設置配備した資機材の維持管理、緊急時対応訓練をQMS文書に従って適切に実施していることを確認した。</p> <p>[良好事例1件]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異常事象発生時における電源早期復旧用機材の改善 <p>④島根原子力発電所の長期停止への対応状況</p> <p>島根1号機について「1号機 保全計画（長期停止時）」を見直し、必要な追加点検等を実施していることを確認した。また、これらに係る活動をQMS文書に従って適切に実施していることを確認した。</p>

【特記事項】

○現場監査の充実（発電所駐在による現場確認^{※2}）

考査部門2名が発電所に約4週間（10/21～11/15）駐在して、現場状況や会議体の運営状況等を確認した上で監査（11/13～11/15）を実施し、現場監査の充実を図りました。

※2 現場駐在型監査

平成22年度から、「島根原子力発電所における点検不備問題」を踏まえた考査部門の内部監査方法の改善として、発電所の運営状況等を詳細に情報収集してから監査が実施できるように、考査部門2名が1ヶ月程度発電所に駐在し、現場状況や会議体の運営状況等を確認する取り組みを行っ

ています。

b. 実施部門の内部監査

原子力部門で監査チームを構成し、保安管理業務（運転管理、燃料管理、放射性廃棄物管理、放射線管理、保守管理、緊急時（非常時）の措置等に関する業務）と原子力安全文化醸成活動の計画および実施状況を中心に監査を行いました。

【実施部門内部監査1回目】

実施時期	平成25年8月27日～28日
監査テーマ	品質マネジメントシステムの定着と継続的改善
監査結果	<p>監査基準の JEAC4111-2009, 原子力品質保証細則, 基本要領, 島根原子力発電所で定めた要領および手順書に基づき, 概ね適切に品質保証活動が実施されていることを確認した。</p> <p>[良好事例2件]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発電所各課の品質目標及び保守管理目標の平成25年度「業務実施計画書」への確実な展開 ・品質保証に関する新基準の施行に伴うQMS文書改正作業の着実に漏れのない対応 <p>[不適合事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし

【実施部門内部監査2回目】

実施時期	平成25年11月13日～14日
監査テーマ	品質マネジメントシステムの定着と継続的改善
監査結果	<p>監査基準の JEAC4111-2009, 原子力品質保証細則, 基本要領, 島根原子力発電所で定めた要領および手順書に基づき, 概ね適切に品質保証活動が実施されていることを確認した。</p> <p>[良好事例2件]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「工事業務管理手順書」の継続的な改善に向けた取り組み ・2号機蒸気タービン取替対応の着実な実施に向けた取り組み <p>[不適合事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし

(2) 保安検査および定期事業者検査, 定期安全管理審査の実施状況

a. 保安検査

原子力規制庁(国)の検査官により, 原子炉施設の運転に関し保安のために必要な事項を定めた保安規定の遵守状況について定期的(年4回)に検査が行われています。

なお, 「島根原子力発電所における点検不備問題」を踏まえ, 平成22年6月から定例の保安検査に加え特別な保安検査として保安検査の体制を強化して実施されていましたが, 平成25年度第1四半期(第1回)をもって通常の保安検査に体制を移行されました。

【第1回 保安検査】

実施時期	平成25年6月7日～平成25年6月25日
基本検査項目	<ol style="list-style-type: none"> 1. 東京電力(株)福島第一原子力発電所事故を踏まえた緊急安全対策等の実施状況 2. 保守管理の実施状況

	3. 教育訓練の実施状況 4. 是正処置及び予防処置の実施状況 5. 高放射線区域及び汚染区域の管理状況（抜き打ち検査）
追加検査項目	保守管理の不備等に係る保安規定違反（違反1）の改善措置の実施状況
保安検査結果	保安検査結果については、原子力規制委員会ホームページで公開されている以下の報告書を参照願います。 http://www.nsr.go.jp/activity/regulation/unten/h25_1/data/shimane_kensa01_01.pdf
違反事項 (違反1/違反2/違反3)	なし

【第2回 保安検査】

実施時期	平成25年8月29日～平成25年9月11日
基本検査項目	1. 東京電力(株)福島第一原子力発電所事故を踏まえた緊急安全対策等の実施状況 2. 保守管理の実施状況 3. マネジメントレビューの実施状況（本社検査） 4. 内部監査の実施状況（本社検査） 5. 放射性廃棄物管理の実施状況 6. 定期安全レビューの実施状況 7. 巡視点検の実施状況（抜き打ち検査）
保安検査結果	保安検査結果については、原子力規制委員会ホームページで公開されている以下の報告書を参照願います。 http://www.nsr.go.jp/activity/regulation/unten/h25_2/data/shimane_kensa01_01.pdf
違反事項 (違反1/違反2/違反3)	なし

【第3回 保安検査】

実施時期	平成25年12月2日～平成25年12月13日
基本検査項目	1. 東京電力(株)福島第一原子力発電所事故を踏まえた緊急安全対策等の実施状況 2. 保守管理の実施状況 3. 運転管理の実施状況 4. 放射線管理の実施状況 5. 緊急時の措置に係る実施状況 6. 原子炉主任技術者の職務等に係る実施状況（抜き打ち検査）
保安検査結果	保安検査結果については、原子力規制委員会ホームページで公開されている以下の報告書を参照願います。 http://www.nsr.go.jp/activity/regulation/unten/h25_3/data/shimane_kensa01_01.pdf
違反事項 (違反1/違反2/違反3)	なし

【第4回 保安検査】

実施時期	平成26年3月3日～平成26年3月14日
基本検査項目	1. 東京電力(株)福島第一原子力発電所事故を踏まえた緊急安全対策等の実施状況

	2. 保守管理の実施状況 3. マネジメントレビューの実施状況 4. 安全文化醸成活動の実施状況 5. 放射性廃棄物管理の実施状況 6. 管理区域外等への搬出及び運搬の実施状況（抜き打ち検査）
保安検査結果	保安検査結果については、原子力規制委員会ホームページで公開されている以下の報告書を参照願います。 http://www.nsr.go.jp/activity/regulation/untten/h25_4/data/shimane_kensa01_01.pdf
違反事項 (違反 1/違反 2/違反 3)	なし

b. 定期事業者検査および定期安全管理審査の実施状況

1号機：第29保全サイクル^{※1}（H22.11.8～継続検査中）

2号機：第17保全サイクル^{※1}（H24.1.27～継続検査中）

※1：保全サイクルとは、定期検査開始日（発電機解列日）から次回定期検査開始日（発電機解列日）の前日までの期間をいう。

○定期事業者検査

定期事業者検査は、法律（核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律^{※2}）で規定する施設（特定発電用原子炉施設）の技術基準への適合性を電気事業者（電力会社）が定期的に確認する検査をいいます。

※2：H25.7.7までは、電気事業法

平成25年度の定期事業者検査の実績は次のとおりです。

	定期事業者検査の実施状況 ^{※3, 4}	検査結果
1号機 (第29保全サイクル)	クラスⅠ： 0件（ 0件） クラスⅡ： 0件（ 44件） クラスⅢ： 6件（105件）	合格
2号機 (第17保全サイクル)	クラスⅠ： 0件（ 0件） クラスⅡ： 1件（ 47件） クラスⅢ： 2件（ 85件）	合格

※3：定期事業者検査の実施状況欄の（ ）は、当該保全サイクル期間（1号機：H22.11.8～H26.3.31まで、2号機：H24.1.27～H26.3.31まで）の全件数を表す。

※4：クラスⅠ 原子力安全の確保の観点から特に重要な定期事業者検査

クラスⅡ 原子力安全の確保の観点から重要な定期事業者検査

クラスⅢ 上記以外の定期事業者検査

○定期安全管理審査

定期安全管理審査は、電気事業者（電力会社）が実施する定期事業者検査の実施体制およびその検査が適切に行われていることを、原子力規制委員会^{※5}が確認する審査をいいます。

※5：平成26年2月28日までは独立行政法人原子力安全基盤機構が確認

平成25年度の定期安全管理審査の実績は次のとおりです。

	定期安全管理審査の実施状況 ^{※6}	審査結果
1号機 (第29保全サイクル)	審査件数： 0件（16件） 【内訳】 実地審査：0件（ 5件） 文書審査：0件（11件）	審査継続中

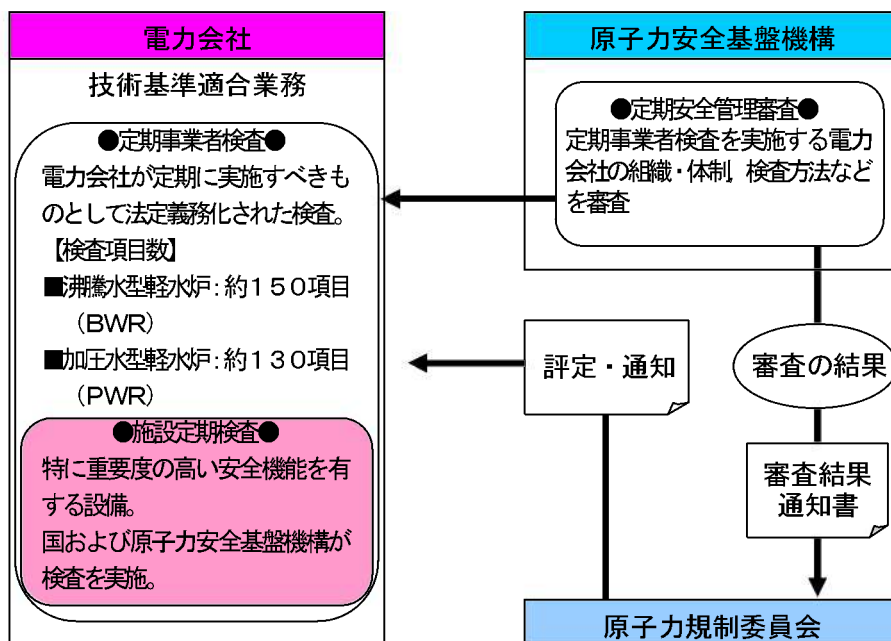
2号機 (第17保全サイクル)	審査件数： 0件 (4件) 【内訳】 実地審査：0件 (1件) 文書審査：0件 (3件)	審査継続中
--------------------	--	-------

※6：定期安全管理審査の実施状況欄の()は、当該保全サイクル期間(1号機：H22.11.8～H26.3.31まで、2号機：H24.1.27～H26.3.31まで)の全件数を表す。

<参考>

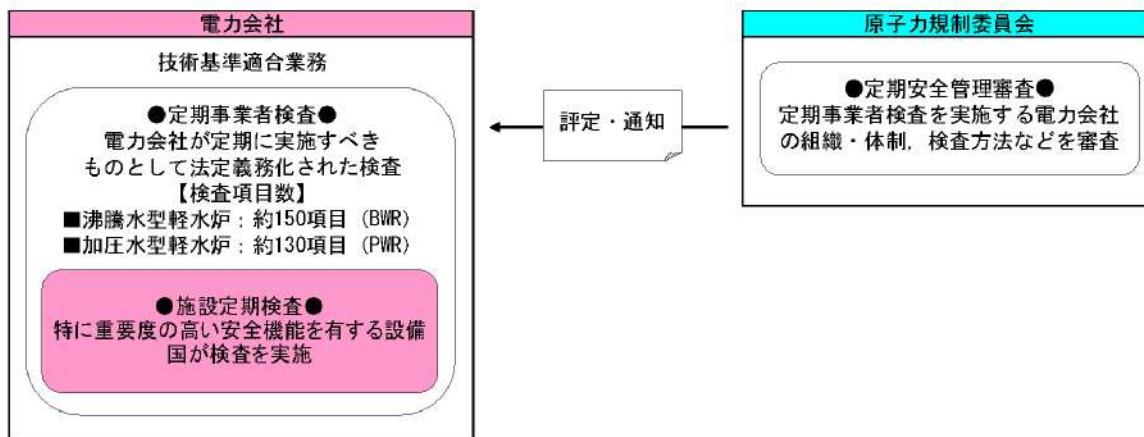
定期事業者検査と定期安全管理審査の関係

《平成26年2月28日まで》



定期事業者検査制度の流れ

《平成26年3月1日以降》



定期事業者検査制度の流れ

(3) 不適合処置、是正処置の状況

要求事項に適合しない状態(不適合)が認められた時は、その設備・機器を誤って使用したり、誤った手順書などを使用しないために、識別するとともに管理を確実に行っていきます。

不適合管理では、まず不適合処置(要求事項に適合した状態に戻す処置)を行い、不適合が発

生じた原因を調査し、さらに必要により是正処置（同じ原因で同じ不適合を発生させないための再発防止）を図ることとしています。

「島根原子力発電所における点検不備問題」により改善した不適合管理プロセス（懸案事項や工事中の不具合など全ての不適合事象を不適合判定検討会に持ち込み、不適合管理の要否、不適合管理グレード等を決定する）を確実に実行し、不適合判定検討会や是正処置検討会などを活用し、不適合処置や是正処置の向上に努めています。

なお、平成26年3月末における不適合処置・是正処置の状況は別紙-2のとおりです。

a. 不適合判定検討会、是正処置検討会の開催

従来は不適合管理検討会として必要と認めた時に限り実施していましたが、「島根原子力発電所における点検不備問題」での再発防止対策のひとつとして、平成22年8月から原則毎日（休祭日を除く）、不適合判定検討会を開催し、確実な不適合管理を行っています。

また、是正処置においても是正処置検討会を1回／四半期（定例）の頻度で開催し、是正処置の進捗状況の監視を行っています。

b. 不適合情報の公開

島根原子力発電所で発生した不適合については、平成22年8月の不適合判定検討会で審議されたものから、当社のホームページで平成22年9月から公開しています。

（島根原子力発電所の不適合情報）

http://www.energia.co.jp/atom/shimane_jyouhou/jyouhou.html

（4）予防処置の状況

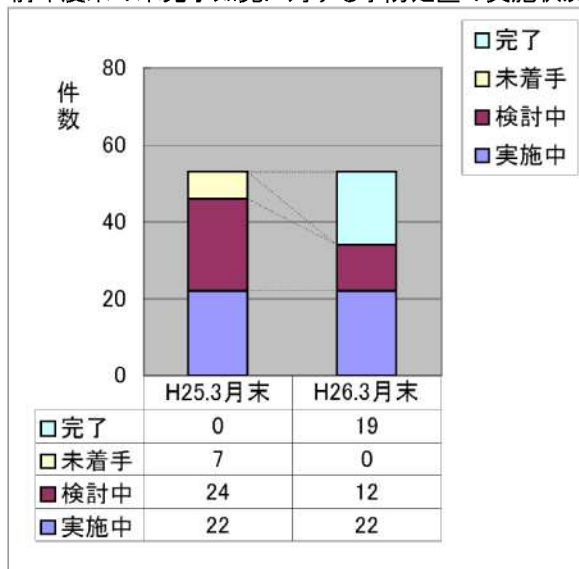
予防処置とは「起こり得る不適合」を未然に防止するために取る処置のことであり、次の2つの知見から得られる情報をもとに当社の状況を調査し、必要により予防処置を図ることとしています。

当社設備への反映については、社内の予防処置検討会等で審議し、必要と判断したものは設備主管課において作業計画に反映しています。

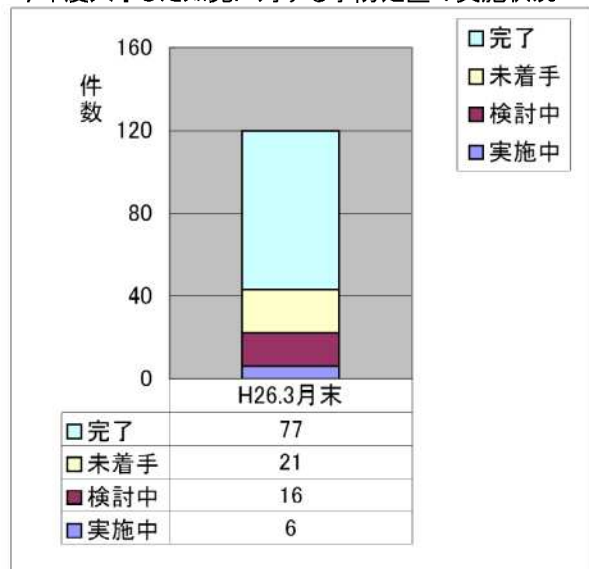
平成26年3月末における予防処置の状況は、以下のグラフのとおりです。

<他施設から得られた知見の予防処置>

前年度末の未完了知見に対する予防処置の実施状況

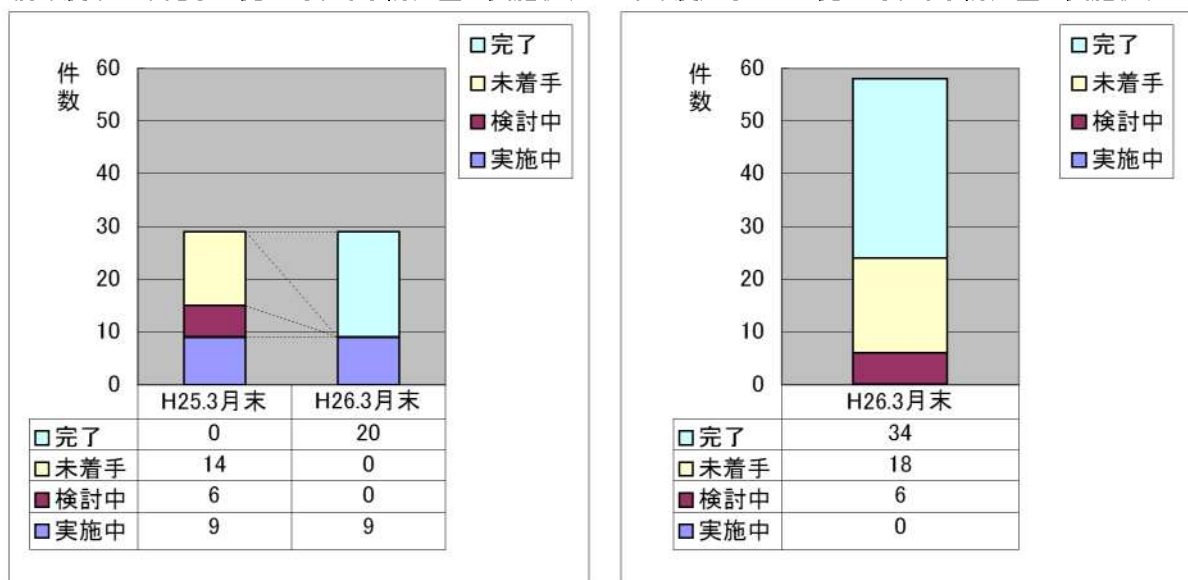


今年度入手した知見に対する予防処置の実施状況



<保安活動および建設活動から得られた知見の予防処置>

前年度末の未完了知見に対する予防処置の実施状況 今年度入手した知見に対する予防処置の実施状況



【グラフの解説】

未着手：予防処置のスクリーニング（予防処置の検討の可否を仕分け）に着手していないもの

検討中：予防処置のスクリーニングが「要」となったもので、設備主管課が予防処置の実施について検討中のもの

実施中：設備主管課が予防処置の実施を「要」と決定し、設備改造等に着手しているもの

完了：予防処置のスクリーニングで「否」となったもの、および設備主管課による予防処置が完了したもの

4. マネジメントレビュー

マネジメントレビューは品質方針および品質目標の達成度合いを評価することにより、方針や目標が形骸化するのを防ぎ、かつ、品質マネジメントシステムの有効性を継続して維持できるようにすることを目的として、トップマネジメント（社長）がレビューを行っています。

マネジメントレビューの実施にあたり、品質マネジメントシステムの有効性に関する情報および品質マネジメントシステムを改善する必要性を判断するための情報やデータの分析結果を集約します。（マネジメントレビューへのインプット）

マネジメントレビューへのインプット情報をもとにレビューを行い、品質マネジメントシステムおよびそのプロセスの有効性の改善などに関する決定事項や処置事項として、トップマネジメント（社長）から改善の指示を行っています。（マネジメントレビューからのアウトプット）

当社では、原則2月および6月に定例のマネジメントレビューを行っています。

(1) 平成25年6月に実施したマネジメントレビューのアウトプット

マネジメントレビューへのインプット	決定および処置項目	マネジメントレビューからのアウトプット
a) 監査の結果 b) 原子力安全の達成に関する外部の受け止め方 c) プロセスの成果を含む実施状況並びに検査及び試験の結果 d) 予防処置及び是正処置の状況 e) 前回までのマネジメントレビューの結果に対するフォローアップ f) 品質マネジメントシステムに影響を及ぼす可能性のある変更 g) 改善のための提案	QMSおよびそのプロセスの有効性の改善	（平成25年2月のアウトプットからの追加事項はなし。）
	業務の計画および実施に必要な改善	
	資源の必要性	
	品質方針、保守管理の実施方針および品質目標の変更の必要性	原子力品質方針、保守管理の実施方針および品質目標の変更の必要性はない。

(2) 平成26年2月に実施したマネジメントレビューのアウトプット

マネジメントレビューへのインプット	決定および処置項目	マネジメントレビューからのアウトプット
a) 監査の結果 b) 原子力安全の達成に関する外部の受け止め方 c) プロセスの成果を含む実施状況並びに検査及び試験の結果 d) 予防処置及び是正処置の状況 e) 原子力安全文化醸成活動の実施状況 f) 関係法令の遵守状況 g) 前回までのマネジメントレビューの結果に対するフォローアップ h) 品質マネジメントシステムに影響を及ぼす可能性のある変更 i) 改善のための提案	QMSおよびそのプロセスの有効性の改善 業務の計画および実施に必要な改善	平成25年度の JANSI ピアレビュー時の指摘事項に対し、策定した改善計画に基づき確実に対応すること。
	資源の必要性	1. 人的資源への対応 国際的視野で柔軟に対応できる人材（リーダー、レビュー）を計画的に育成すること。 2. 予算への対応 新規制適合に必要な資源は適宜適切に投入すること。 なお、会社を取り巻く状況を十分に認識し、原子力安全を最優先として、経費削減を徹底すること。
	品質方針（原子力品質方針（保守管理の実施方針含む）および原子力安全文化醸成に関する基本方針）および品質目標の変更の必要性	保守管理の実施方針のうち、島根1号の長期保守管理方針に係る記載については、運開後40年経過を踏まえて見直しが必要。

5. 教育・訓練

品質保証に関する社内の教育・訓練は、「原子炉施設保安規定」に基づいて行う保安教育と、発電所運営に必要な知識技能の修得および維持向上を目的に実施しているものがあり、主な実施状況は次のとおりです。

教育・訓練内容		実績（H25年度上期）
(1) 保安規定に基づく教育訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・運転員を対象とした教育 ・運転員以外を対象とした教育 	別紙－3 参照
(2) 技術教育訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・品質保証関係 ・保守管理関係 他 	別紙－4 参照

6. その他

(1) 定期検査時の品質保証に係る意識高揚策

定期検査時の品質保証に係る意識高揚策として、品質保証に係るポスターや標語を発電所員および協力会社から募集し、現場に掲示し、品質保証の意識高揚に努めました。

1号機29回定期検査および2号機17回定期検査における標語、ポスターの応募総数等については次のとおりです。

	標語			ポスター	
	応募総数	優秀賞	入賞	応募総数	優秀賞
1号29回	698	1	17	32	6
2号17回	421	1	13	27	6
【標語の優秀賞】					
1号29回	「焦る気持ちがミスのもと、焦らず 慌てず、ゆとりの作業」				
2号17回	「ちょっと待て！不安に思えばすぐ相談 報・連・相で品質確保」				

(2) 協力会社との情報共有活動

原子力安全を達成するためには、協力会社（調達先）から提供される調達製品や作業における品質も確かなものでなければなりません。

そのためには、協力会社との互惠関係を創造することが重要であり、島根原子力発電所では協力会社とのコミュニケーションの場として次の会議体を設置し、情報共有を図っています。

また、協力会社への定期的な社外監査の実施により、協力会社の品質マネジメントシステムや品質保証活動について確認を行っています。

a. 安全協議会と専門部会

中国電力と構内常駐の協力会社で構成し、災害防止と健康の保持増進を図ることを目的として安全協議会を設置しています。なお、安全協議会の下部組織として次の3つの専門部会を設置し、具体的事項の審議・協議および諸活動を行っています。

平成25年度の活動実績は次のとおりです。

会議体	安全協議会および専門部会での主な活動	開催回数と頻度
安全協議会	<ul style="list-style-type: none"> ○協議会活動の方針・年度計画の審議 ○安全衛生諸施策およびの実施に関する事項の審議 ○安全衛生教育の実施に関する事項の審議 ○放射線管理に関する事項の審議 ○災害時対応に関する事項の審議 ○原子力安全文化の醸成に関する事項の審議 ○その他、以下の協議事項の審議 ・外部放射線量等、作業環境測定の実施およびその結果に基づく作業環境の改善に関する事項 ・放射線業務に係る安全衛生教育の実施方法に関する事項 ・事故時の避難、その他の措置に関する事項 ・事故事例および再発防止に関する事項 他 	<p style="text-align: center;">12回 【1回/月】</p>
放射線管理部会	<ul style="list-style-type: none"> ○放射線管理に関する規定の周知 ○被ばく線量の低減化の方策に関すること ○災害時の対応と再発防止 ○放射線管理に関する教育の実施 ○その他放射線管理に関する諸施策 	<p style="text-align: center;">13回 【1回/月】 ※定検時【1回/週】</p>
作業安全管理部会	<ul style="list-style-type: none"> ○各種工事に関する安全諸施策の実施 ○各種工事に関する安全教育の実施 ○関係請負人が持ち込む機械、器具等の管理に関する諸施策の実施 ○災害時の対応と再発防止 ○その他各種工事の安全に関する必要な連絡調整 	<p style="text-align: center;">18回 【1回/月】 ※定検時【1回/週】</p>
衛生管理部会	<ul style="list-style-type: none"> ○衛生諸施策の実施 ○衛生教育の実施 ○災害時の対応と再発防止 ○その他衛生に関する必要な連絡調整 	<p style="text-align: center;">12回 【1回/月】</p>

※定検時の開催頻度は原則を記載しており、定期検査の状況（定期検査の長期化による主要工事の終了）により各部会で開催を判断しているため実施回数に差がある。

b. 品質保証連絡会の開催

定期検査期間中の品質保証活動に関する事項について、定期的に品質保証連絡会を開催し、品

質保証に関し協力会社と情報共有を図っています。

平成25年度の1号機29回定期検査および2号機17回定期検査における活動実績は次のとおりです。

会議体	品質保証連絡会での主な活動	開催回数と頻度
品質保証連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ○調達上の要求事項に係る情報共有（品質保証仕様書等改正時の説明など） ○品質保証活動の標語、ポスターの優秀賞選定、表彰 ○不適合事象や調達先不適合について紹介 ○協力会社の品質保証活動の取り組みについて紹介 	<p style="text-align: center;">2回 ※定検時[1回/月]</p>

※定検時の開催頻度は原則を記載しており、定期検査の状況（定期検査の長期化による主要工事の終了）により連絡会で開催を判断している。

c. 協力会社への監査

原子力発電設備の重要な機器について工事発注（物品の発注含む）している協力会社（5社）に対して、定期的（1回/3年）または必要と判断した場合に社外監査を行っています。

また、上記以外の協力会社については、当社が必要と認めた時に監査を行っています。

平成25年度は、年度計画に基づいて2件の定期監査を実施し、定期監査以外に必要と判断した臨時監査を5件実施しました。

【定期監査】

○品質マネジメントシステムに係る監査（H25.10.18 実施）

- ・監査主管部： 保修部（タービン）
- ・被監査箇所： a 社
- ・監査内容 ： 調達製品に関する品質保証活動が、監査基準（品質保証計画書）に基づき実施されていることを確認した。
- ・不適合事項： 0件 ・改善要望事項： 0件 ・提言事項： 0件

○品質マネジメントシステムに係る監査（H25.11.27 実施）

- ・監査主管部： 品質保証部（品質保証）
- ・被監査箇所： b 社
- ・監査内容 ： 調達製品に関する品質保証活動が、監査基準（品質保証計画書）に基づき実施されていることを確認した。
- ・不適合事項： 0件 ・改善要望事項： 0件 ・提言事項： 3件

【臨時監査】

○溶接事業者検査に係る監査（H25.6.13 実施）

- ・監査主管部： 保修部（保修管理）
- ・被監査箇所： A 社
- ・監査内容 ： 当社の要求事項に基づき、溶接事業者検査の協力事業者としての業務が適切に実施されていることを確認した。また、他社で発生した「溶接事業者検査の一部未実施」に関する是正処置のうち、平成24年7月18日の臨時監査以降に計画、実施された処置を確認した。
- ・不適合事項： 0件 ・改善要望事項： 0件 ・提言事項： 0件

○溶接事業者検査に係る監査（H25.7.10 実施）

- ・ 監査主管部： 保修部（S A工事プロジェクト）
- ・ 被監査箇所： B社
- ・ 監査内容 ： 当社が発注した工事における溶接施工および溶接事業者検査関連作業について、
監査基準（当社の要求事項）に基づき適切に実施する体制が確立されていることを確認した。
- ・ 不適合事項： 0件 ・ 改善要望事項： 0件 ・ 提言事項： 0件

○溶接事業者検査に係る監査（H25.9.6 実施）

- ・ 監査主管部： 保修部（S A工事プロジェクト）
- ・ 被監査箇所： C社
- ・ 監査内容 ： 当社が発注した工事における溶接施工および溶接事業者検査関連作業について、
監査基準（当社の要求事項）に基づき適切に実施する体制が確立されていることを確認した。
- ・ 不適合事項： 0件 ・ 改善要望事項： 0件 ・ 提言事項： 0件

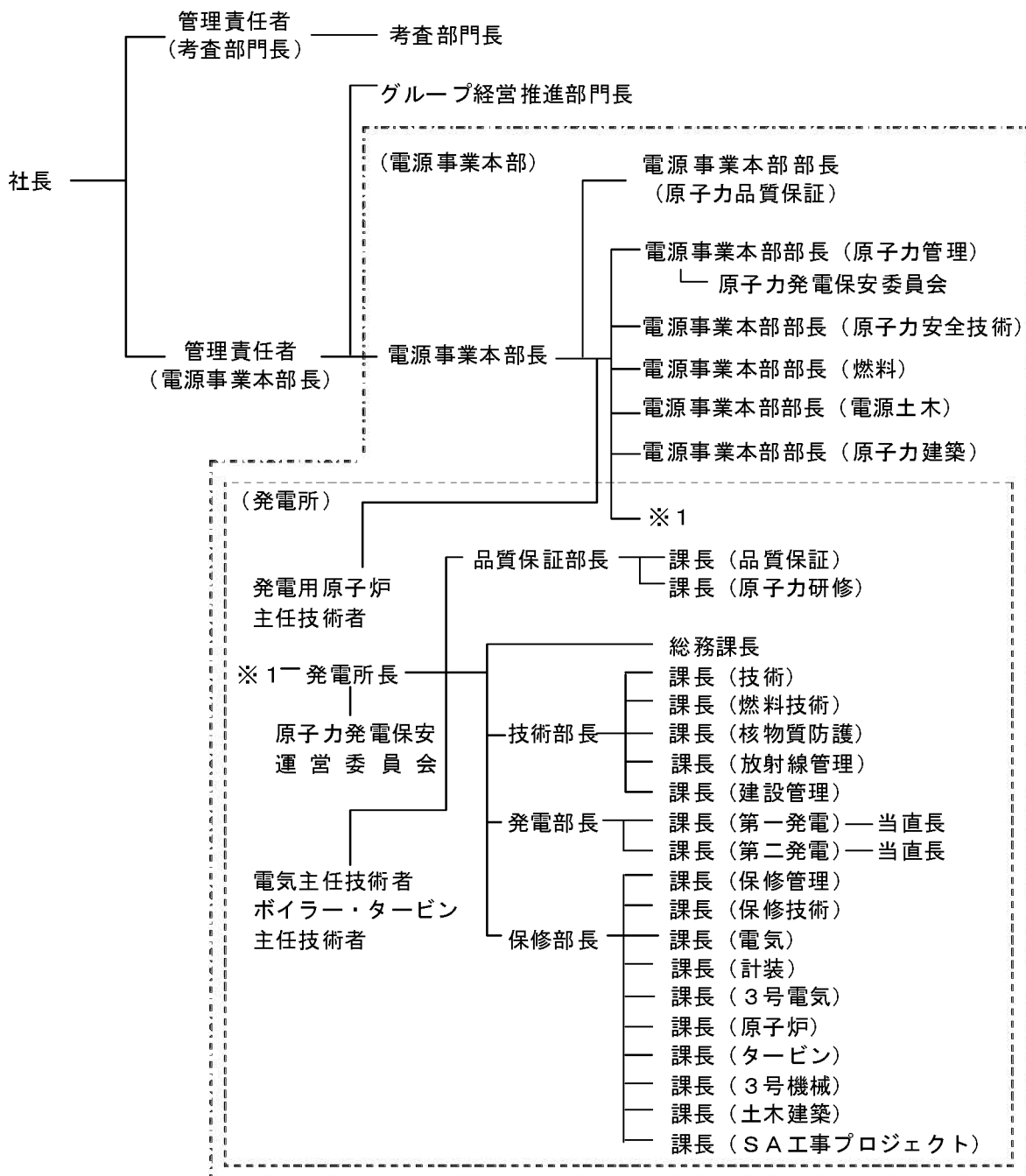
○溶接事業者検査に係る監査（H25.10.29 実施）

- ・ 監査主管部： 保修部（S A工事プロジェクト）
- ・ 被監査箇所： D社
- ・ 監査内容 ： 当社が発注した工事における溶接施工および溶接事業者検査関連作業について、
監査基準（当社の要求事項）に基づき適切に実施する体制が確立されていることを確認した。
- ・ 不適合事項： 0件 ・ 改善要望事項： 0件 ・ 提言事項： 0件

○溶接事業者検査に係る監査（H25.10.30 実施）

- ・ 監査主管部： 保修部（S A工事プロジェクト）
- ・ 被監査箇所： E社
- ・ 監査内容 ： 当社が発注した工事における溶接施工および溶接事業者検査関連作業について、
監査基準（当社の要求事項）に基づき適切に実施する体制が確立されていることを確認した。
- ・ 不適合事項： 0件 ・ 改善要望事項： 0件 ・ 提言事項： 0件

島根原子力発電所 品質保証活動に係る体制



不適合・是正処置の状況

1. 不適合の種類の内訳件数

不適合管理グレード※1	平成25年度	分類	割合
A	0件	人的※2	13%(43件)
B	8件	設備	87%(280件)
C	315件		
合計	323件		

※1 不適合管理グレード

グレードA ・原子炉施設の設備・機器における不具合事象および人的不適合事象のうち、原子力安全に対する影響が大きい事象

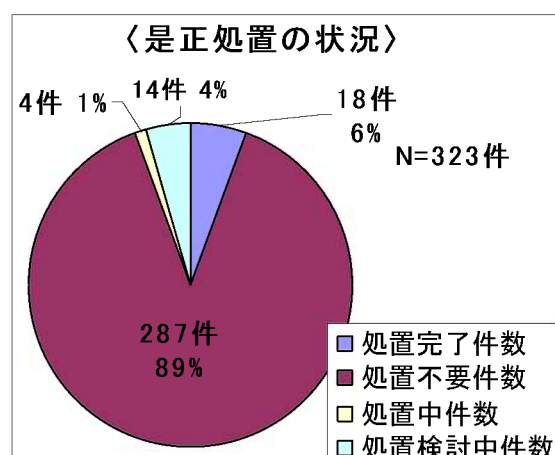
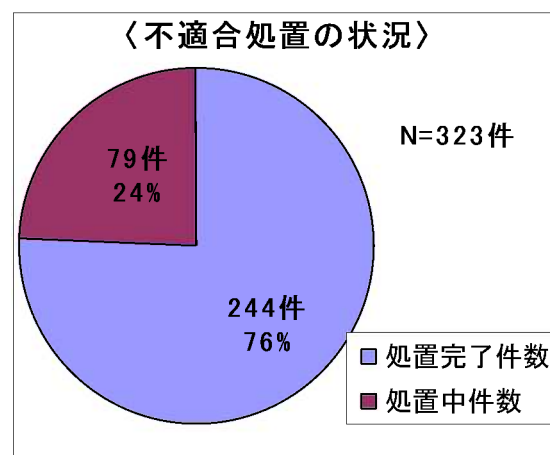
グレードB ・原子炉施設の設備・機器における不具合事象および人的不適合事象のうち、原子力安全に対する影響が比較的大きい事象

グレードC ・原子炉施設の設備・機器における不具合事象および人的不適合事象のうち、原子力安全に対する影響が軽微な事象

※2 要領・手順書等の認識不足、誤記（記入漏れ・誤字・脱字等）等の人的ミスをいう。

2. 不適合処置および是正処置の処置率(H26. 3. 31現在)

件数および処置率		平成25年度発生分	
不適合発生件数		323件	
不適合 処置 ※1	処置完了件数	244件	
	不適合処置率	76%	
	処置中件数	79件	
是正 処置 ※2	是正処置対象件数	22件	
	(内訳)	処置完了件数	18件
		是正処置率	82%
		処置中件数	4件
	是正処置不要件数 ※3	287件	
是正処置必要性検討中件数	14件		



※1 不適合処置とは、要求事項に適合しない状態（不適合）が認められたものを、当初の要求事項に適合した状態に戻す処置をいう。

※2 是正処置とは、同じ原因で同じ不適合を発生させないための再発防止を図る処置をいう。

※3 事後保全機器（故障が発生した後に修理することが容認されている機器）などの不適合については、再発防止を図る必要がないため是正処置不要としている。

不適合・是正処置の状況(過去分)

1. 不適合の種類の内訳件数

	合計	分類	割合
H22年度	1,009件	人的(※1)	—(※2)
		設備	
H23年度	562件	人的(※1)	12%(68件)
		設備	88%(494件)
H24年度	413件	人的(※1)	13%(55件)
		設備	87%(358件)

(※1) 要領・手順書等の認識不足、誤記(記入漏れ・誤字・脱字等)等の人的ミスをいう。

(※2) 不適合管理グレードの重要度が高いもののみ分類分けを行うこととしていたため全体の割合を算出することはできない。

2. 不適合処置および是正処置の処置率(H26. 3. 31現在)

		H22年度	H23年度	H24年度	
不適合発生件数		1,009件	562件	413件	
不適合処置	処置完了件数	1,004件	553件	406件	
	不適合処置率	99%	98%	98%	
	処置中件数	5件	9件	7件	
是正処置	是正処置対象件数	90件	62件	18件	
	(内訳)	処置完了件数	90件	62件	18件
		是正処置率	100%	100%	100%
		処置中件数	0件	0件	0件
	是正処置不要件数	919件	500件	395件	
是正処置必要性検討中件数	0件	0件	0件		

平成25年度 島根原子力発電所の教育訓練実績（保安教育） その1：運転員以外対象

(単位:人)

保安教育の内容(保安規定)				実施時期	教育訓練者数
大分類	中分類	小分類 (項目)	内容		
入所時に実施する教育	関係法令および保安規定の遵守に関すること	原子炉等規制法	原子炉等規制法に関連する法令の概要 関係法令および保安規定の遵守に関すること (コンプライアンス)	入所時(原子力発電所新規配属時)	294 (一)
	原子炉施設の構造、性能に関すること	設備概要、主要系統の機能	・原子炉のしくみ ・原子炉容器等主要機器の構造に関すること ・原子炉冷却系統等主要系統の機能・性能に関すること		
	非常の場合に講ずべき処置に関すること		非常の場合に講ずべき処置の概要		
放射線業務従事者教育	関係法令および保安規定の遵守に関すること		法令、労働安全衛生規則および電離放射線障害防止規則の関係条項	管理区域内において核燃料物質もしくは使用済燃料またはこれらによって汚染された物を取扱う業務に就かせる時	55 (一)
	原子炉施設の構造、性能に関すること		原子炉、放射性廃棄物の廃棄設備およびその他の設備の構造に関すること ・原子炉、放射性廃棄物の廃棄設備およびその他の設備の取扱いの方法 ・管理区域への立入りおよび退去の手順		
	放射線管理に関すること		・外部放射線による線量当量率および空気中の放射性物質の濃度の監視の方法 ・電離放射線が生体の細胞、組織、器官および全身に与える影響		
	核燃料物質および核燃料物質によって汚染された物の取扱いに関すること		核燃料物質もしくは使用済燃料またはこれらによって汚染された物の種類および性状ならびに運搬、貯蔵、廃棄の作業の方法・順序		
	非常の場合に講ずべき処置に関すること		異常な事態が発生した場合における応急措置の方法		
その他 反復教育 (運転設備管理教育)	関係法令および保安規定に関すること	原子炉施設保安規定	保安規定(総則、品質保証、体制および評価、保安教育、記録および報告に関する規則の概要)に関することならびに関係法令および保安規定の遵守に関すること	3年間で対象者全員が受講	281 (115)
	原子炉施設の運転に関すること	運転管理	・臨界管理に関すること ・運転上の留意事項に関すること、通則に関すること ・運転上の制限に関すること ・異常時の措置に関すること	3年間で対象者全員が受講	129 (94)
		保守管理	保守管理計画に関すること	3年間で対象者全員が受講	162 (95)
	放射線管理に関すること	放射線管理	・管理区域への出入り管理等、区域管理に関すること ・線量限度等、被ばく管理に関すること ・外部放射線に係る線量当量率等の測定に関すること ・管理区域外への移動等物品移動の管理に関すること ・協力会社等の放射線防護に関すること	3年間で対象者全員が受講	158 (116)
			放射線測定器の取扱い	3年間で対象者全員が受講	12 (12)
	核燃料物質および核燃料物質によって汚染された物の取扱いに関すること	放射性廃棄物管理	放射性固体・液体・気体廃棄物の管理に関すること	3年間で対象者全員が受講	193 (116)
		燃料管理	・燃料管理における臨界管理 ・燃料の検査、取替、運搬および貯蔵に関すること	3年間で対象者全員が受講	54 (30)
非常の場合に講ずべき処置に関すること	防災教育	緊急事態応急対策等、原子力防災対策活動に関すること (アクシデントマネジメント対応を含む)	3年間で対象者全員が受講	250 (94)	

(注) 教育訓練者数の()は年度計画値を示す。

なお、(一)は発電所入所者数、放射線業務従事者数が年度当初は未定のため。

平成25年度 島根原子力発電所の教育訓練実績(保安教育) その2:運転員対象

(単位:人)

保安教育の内容(保安規定)				実施時期	教育訓練者数	
大分類	中分類	小分類(項目)	内容			
その他 反復教育 (運転設備管理教育)	関係法令および保安規定に関すること	原子炉施設保安規定	保安規定(総則,品質保証,体制および評価,保安教育,記録および報告に関する規則の概要)に関すること ならびに関係法令および保安規定の遵守に関すること	3年間で対象者全員が受講 ※2	8 (5)	
		運転管理	原子炉物理・臨界管理	原子炉物理・臨界管理	3年間で対象者全員が受講 ※2	5 (2)
	運転管理I 運転管理II 運転管理III		運転管理I 運転管理II 運転管理III	3年間で対象者全員が受講 ※1※2	78 (72)	
	巡視点検・定期的検査I 巡視点検・定期的検査II		巡視点検・定期的検査I 巡視点検・定期的検査II	3年間で対象者全員が受講 ※2	79 (72)	
	異常時対応(現場機器対応) 異常時対応(中央制御室内対応) 異常時対応(指揮,状況判断)		異常時対応(現場機器対応) 異常時対応(中央制御室内対応) 異常時対応(指揮,状況判断)	6回/年 (7回/年※3) ※1※2	533 (499)	
	原子炉施設の運転に関すること		運転訓練	シミュレータ訓練I (直員連携研修)	シミュレータ訓練I (直員連携研修)	1回/年
		シミュレータ訓練II (再研修)		シミュレータ訓練II (再研修)	1回/年	25 (25)
		シミュレータ訓練III (当直管理者研修)		シミュレータ訓練III (当直管理者研修)	3年間で対象者全員が受講	17 (17)
		シミュレータ訓練III (BTC上級)		シミュレータ訓練III (BTC上級)	3年間で対象者全員が受講	5 (5)
	放射線管理に関すること	放射線管理	・管理区域への出入り管理等,区域管理に関すること ・線量限度等,被ばく管理に関すること ・外部放射線に係る線量当量率等の測定に関すること ・管理区域外への移動等物品移動の管理に関すること ・協力会社等の放射線防護に関すること	・管理区域への出入り管理等,区域管理に関すること ・線量限度等,被ばく管理に関すること ・外部放射線に係る線量当量率等の測定に関すること ・管理区域外への移動等物品移動の管理に関すること ・協力会社等の放射線防護に関すること	3年間で対象者全員が受講 ※2	80 (71)
			放射線測定器の取扱い	放射線測定器の取扱い	3年間で対象者全員が受講 ※2	1 (1)
	核燃料物質および核燃料物質によって汚染された物の取扱いに関すること	放射性廃棄物管理	放射性固体・液体・気体廃棄物の管理に関すること	放射性固体・液体・気体廃棄物の管理に関すること	3年間で対象者全員が受講 ※2	1 (1)
		燃料管理	・燃料の臨界管理に関すること ・燃料の検査,取替,運搬および貯蔵に関すること	・燃料の臨界管理に関すること ・燃料の検査,取替,運搬および貯蔵に関すること	3年間で対象者全員が受講 ※2	79 (71)
	非常の場合に講ずべき処置に関すること		緊急事態応急対策等,原子力防災対策活動に関すること (アクシデントマネジメント対応を含む)	緊急事態応急対策等,原子力防災対策活動に関すること (アクシデントマネジメント対応を含む)	3年間で対象者全員が受講 ※2	0 (0)

(注) ※1:複数回/年受講する場合,延人数(人・回)で示す。
 ※2:当直長は1・2号機いずれか実施で1回とする。
 ※3:運転員教育訓練手順書に基づく頻度
 教育訓練者数の()は年度計画値を示す。

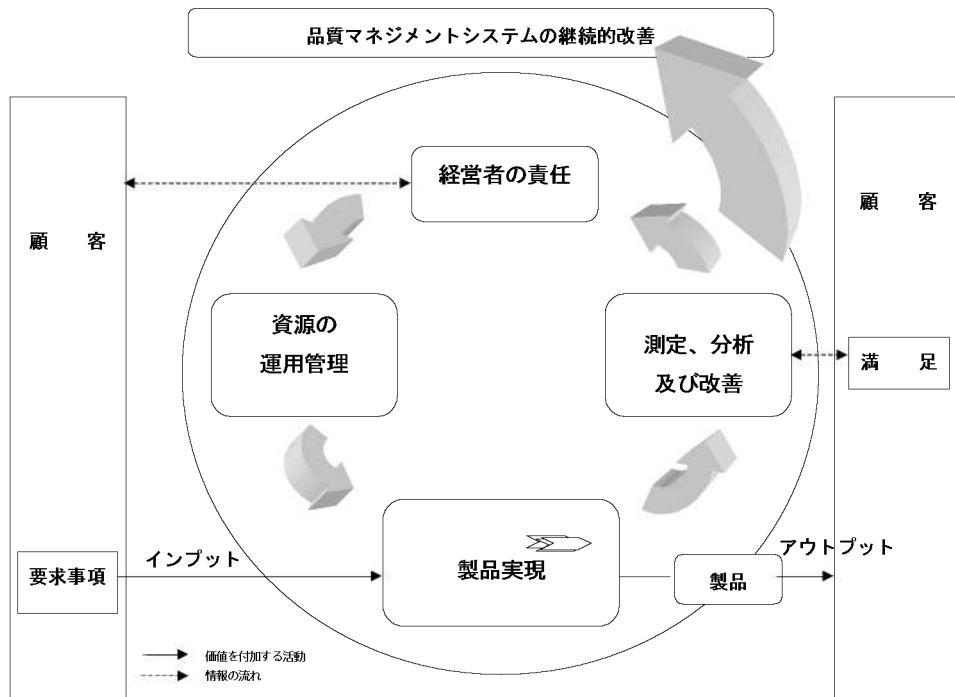
平成２５年度 島根原子力発電所技術教育訓練実績表

	教 育 項 目	対象者	教育訓練者数 (人)
品質保証関係	監査員のための講習会	技術系管理職	18
	品質保証活動に関する教育	全所員	140
	品質保証関係講習会	技術系所員	18
	不適合に関する教育	全所員	508
	コンプライアンス教育	全所員	520
	ヒューマンファクタ教育	技術系所員	20
	電気事業法および関係法令、並びに保安規程教育	技術系所員	261
	日本原子力産業会議派遣教育	技術系所員	0
運転管理関係	運転基礎研修（Ⅰ／Ⅱ）	補助運転士	32
	オペレータ養成研修	補助運転士	8
	B T Cシミュレータ 初級Ⅰ・Ⅱ研修コース	補助運転士	12
	B T Cシミュレータ 上級Ⅱ補強訓練（知識・技能）	当直副長、当直長	0
	B T Cシミュレータ 中級交流Ⅱ B / 交流Ⅱ	運転士	6
	B T Cシミュレータ インストラクター研修	該当者	0
	B T Cシミュレータ 出張チーム評価	運転員	2 ※1
	運転管理教育	運転員	86
保守管理関係	設備引継ぎに伴う設備教育	運転員	80
	特別訓練研修	運転員	4
	原子力研修 教育訓練	技術系所員	920
	作業安全教育	技術系所員	0
	工事管理・作業安全教育	技術系所員	73
	定検工程に関する教育	技術系所員	25
	発電所設備に関する全般教育	技術系所員	35
	溶接事業者検査技術教育	技術系所員	20
	改造工事に伴う設備教育	関係各担当	0
	絶縁油入機器取扱に関する教育	絶縁油を取り扱う者	9
	電気に関する施工管理の教育	電気、3号電気	62
	保守管理講習会	技術系所員	12
	系統運用関係教育	技術系所員	0
	P E T 研修	技術系所員	5
	BTC保全／保修研修	技術系所員	2
原子力保全研修	技術系所員	3	
定期事業者検査教育	定期事業者検査要員	85	
放射線管理関係	定検工事に係る放射線管理教育	放射線作業従事者	0
	放射線障害防止に係る教育	R I 取扱者	27
	放射線管理教育	放射線作業従事者	61
	緊急被ばく医療教育・訓練	総務課員 放射線管理	0
	放射線測定装置取扱訓練	放射線管理	12
	化学分析装置取扱訓練	放射線管理	0
	放射線管理等に関する講習会	放射線管理	6
	緊急時における放射線管理員の養成教育 スクリーニング要員の養成教育	技術部長が指名した者 技術部長が指名した者	0 84
安全・燃料関係	燃料取替に関する教育	発電部	0
	燃料に関する教育	技術系所員	0
	緊急時訓練	全所員	0
	地震時対応訓練	全所員	6
	情報連絡者通報訓練	特別管理職	36 ※2
	電源機能等喪失時の訓練	保守部、発電部	220
	ホイールローダ運転訓練	車両系建設機械技能講習修了者	10
	アクシデントマネージメント（AM）シミュレータ教育	技術班員	6
	燃料検査事前教育	燃料技術	0
	安全解析および炉心性能解析に関する教育	燃料技術	6
	原子力関係講習会	技術部（放射線管理を除く）	4
	日本原子力研究所派遣教育	技術系所員	2
	原子力災害対策支援資機材操作訓練	技術系所員	10
力量関係教育	各課業務主管教育	技術系所員	222
合 計			3,640

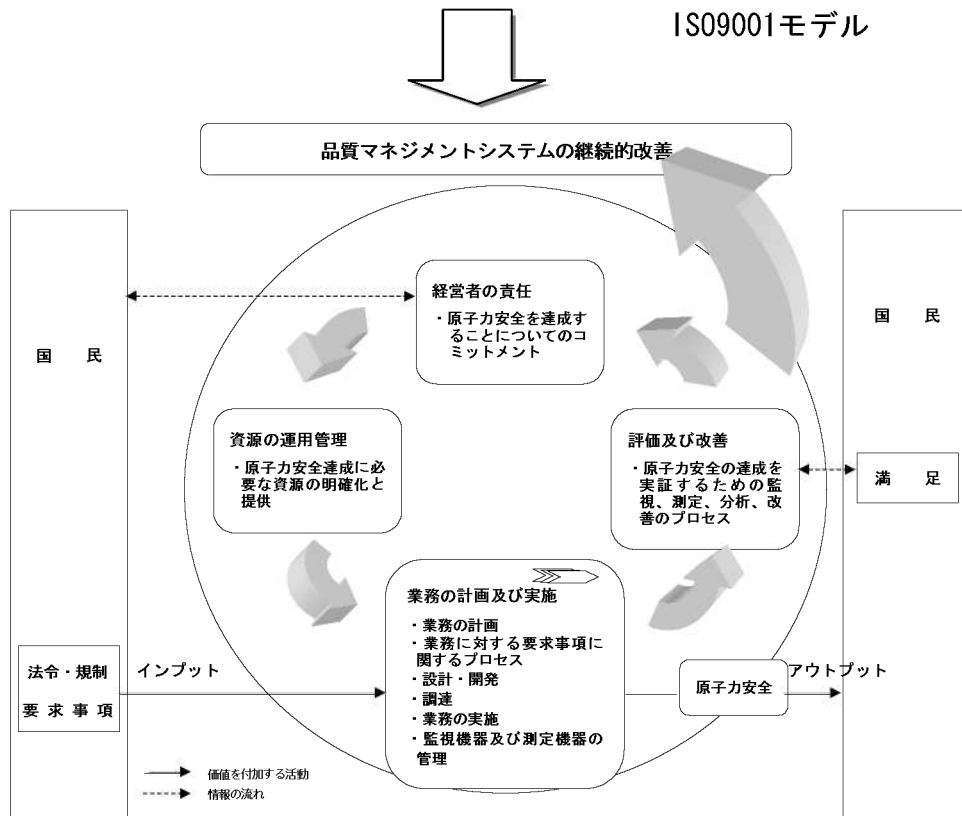
※1：実施回数

※2：グループ数

} 合計には含めない



ISO9001モデル



ISO9001モデルを原子力安全に適用したモデル

＜出展＞ 社団法人日本電気協会「原子力発電所における安全のための品質保証規程」
(JEAC4111-2009) の適用指針—原子力発電所の運転段階—JEAG4121-2009」